

### 三年生から 下級生へ バトンタッチ

先日、三年間勉強に実習に励んできた三年生の生徒達が、思い出の詰まった出雲農林高校を巣立っていきました。それと同時に、下級生には新たなリーダーが育っています。

### 三年生との交流 予餞会

二月九日、卒業を控えた三年生へ一、二年生からのお世話になった気持ちを込めた予餞会が行われました。

「思い出写真館」では懐かしの映像がたくさん流れ、歓声が上がっていました。ビデオレターやイントロクイズなど例年までとは違う内容も多く取り入れ、昨年より楽しかったという声が多く聞かれました。

### 資格検定

動物科学科三年生の二十四名が愛玩動物飼養管理士2級を受験し全員合格しました。

2級資格は高校卒業後に専門学校や通信教育で取得するのが一般的ですが、スクール検定という特別処置により受験しています。このスクール検定実施校は島根県では本校のみです。

合格率は全国平均で七〇八割ということで、快挙といえる成績でした。

### 三年生との別れ 卒業式

三月一日、平成十八年度卒業式が挙行されました。校内は花の飾りでいっぱいになり、正面玄関などでも隅々まできれいにされた中、百四十七名の卒業生を迎えました。厳粛な雰囲気の中、卒業生・在校生とも今年一番といえる大きな声で校歌を歌い、すばらしい式となりました。

各クラスの最後のホームルームは次のような様子でした。

### 植物科学科

先生方からの話と証書授与の時に生徒たちは涙・涙でしたが、担任の伏井先生からの話で再び笑顔が見られました。涙あり笑顔ありのホームルームでした。



### 環境科学科

一見、いつもと変わらぬ様子のホームルームだったようです。しかし、生徒達はホームルーム後も名残惜しそうに学校に残り、先生達に会

いに行つて話をしていました。こみ上げてくる思いがあったようで目に光るものが見えました。

### 食品科学科

加藤先生がホームルームを終わろうとしたとき、生徒から突然、合唱のプレゼントがありました。そして、「お父さん、お母さん、先生、今まで育ててくれてありがとうございます」と、という感謝の言葉で締めくくられた、最後のホームルームでした。

### 動物科学科

終始、神妙な面持ちで目に涙を浮かべて時間が過ぎていきま



ました。先生方の一言一言をしっかりと受け止めていました。保護者の目にも涙が浮かぶなか、最後は、福間先生の心に染みるお話で締めくくられたホームルームでした。

### 在校生へ引継ぎ 校長先生と語る会

卒業式の翌日、生徒会新役員(生徒会長・生徒会副会長・農業クラブ会長・農業クラブ副会長・家庭クラブ会長・家庭クラブ副会長)を集めて、校長先生と語る会が行われました。参加者は出雲農林を引っ張っていく自覚が充分あるようで、これからの意気込みを熱く語っていました。新

役員がとても頼もしく感じた会でした。

### 話し合いの中で出てきた内容

- 体育祭をもっと盛り上げたい！生徒の希望をもっと取り入れたい。(生徒会)
- 農業祭などで、クラスでまとまって活動する機会を作りたい。(生徒会)
- 去年は断念してしまった「学校内を花いっぱい！」を実行したい。(農業クラブ)
- 去年はできなかったが、保育実習時に、お手玉を園児にあげたい。(家庭クラブ)
- 農業祭で展示をもっと多くの方にしてもらいたい。そのために、販売の場と展示の場を近くにしたい。(家庭クラブ)

### 校長先生より

「花いっぱい」はやれたらいい。各クラスの分担があつて、各クラスが責任を持つてやるなど、工夫して欲しい。

○ 体育祭では応援をレベルアップさせて欲しい。

去年は「よきこい」を習いに行つた。今年他校のダンスなども取り入れ、「出雲の応援を見に行きたい」と言われるようになって欲しい。



### 『おそうじ大会』はさぼらない

学校長 佐野 明

出雲農林高校は毎年一度『おそうじ大会』をする学校があります。「小学校?」、「いえいえ、高等学校です。」

「先生にやらされるの?」、「いえいえ、生徒会行事です。」

「半日くらい?」、「いえいえ、3日間です。」

「さぼる人がたくさんいるでしょう」、「いえいえ、一人も」

本当に、怠ける人がいないそうです。ふだんなら、休んでしまう腹痛や風邪でも、この時にさぼったりするとバツが悪くて、一年間みんなに顔向けできないので、誰も休まないそうです。

沖繩本島の中部にある与勝高校です。

私が訪問したのは十年前ですが、既に伝統行事になっており、美しく磨き込まれた学校でした。校地はもとも岩盤で草木が生長するには不向きな土地だったそうですが、土を入れ腐葉土をすきこみ、地味豊かな緑に包まれた学校になっていました。

本校も移転直後は砂漠状態でした。先輩達から続く努力によって緑に溢れた校地になり、与勝高校と同様に学校緑化の文科大臣賞を受賞できました。次に望まれることは、今を基盤に、生徒と先生で磨き込み、花いっぱいの学校にすることでしょう。

### 3～4月の行事予定

日	曜	項	目
19	月	職員会議(進級)	
20	火		
21	水	春分の日	
22	木		
23	金	終業式、離任任式	
24	土		
25	日		
26	月	全国高校選抜WL大会(石川～28)	
27	火	一日入学	
28	水		
29	木		
30	金		
31	土		
1	日		
2	月		
3	火	職員会議	
4	水		
5	木		
6	金	新入生制服渡し	
7	土		
8	日		
9	月	始業式	
10	火	入学式、職員会議	
11	水	一年課題テスト	
12	木	一年宿泊研修(～14)	
13	金		
14	土	出校日	
15	日		
16	月	代休	

WL: ウェイトリフティング

この月報はwww.shimanet.ed.jp/izuno/でも見られます

### 「一年経ちました」

一年 保護者 常松 正巳

今年、日本中で記録的に雪が降らず、影響が出ていない一方で、我が子のように遠くから自転車で通学する者にとつては、雪に悩まされることが少なくてよかったです。早くもので一年が経とうとしています。入学が決まり学校を見に来た時、これまで来たことがなかったので、広い敷地と、自宅からの遠さにびびくりしたものです。

帰宅するどぐったりしている姿に、三年間大丈夫かと心配していました。が、心配をよそに一年



1年生は2月13日に地元企業の職場見学を行いました。

### ■出農高の実力に驚嘆 中国留学生の二週間

二月五日から二週間、中国から五人の留学生が出雲農林高校で留学生生活を体験しました。これは日本国際協力センターと国際交流基金の主催で日中相互理解のために招聘された四十人の中国人高校生のうち五人が前述の主催団体の依頼により本校が受け入れたものです。

植物バイオ実験、フラワーアレンジメント、出雲流庭園見学、ソバ打ち、和菓子作り、製パン、納豆、ヨーグルト作り、犬のしつけ体験など、出農高ならではの実習体験をした他、各活動などの協力を得て、書道、茶道、和太鼓の日本の伝統文化も体験しました。さらに、一年生の職場見学や予餞会などの学校行事にも参加し、短期間に他校では考えられない



くらしい体験ができました。これには、留学生達もビックリで、「いつもこんなに体験的な学習をしているのか？」と校長に質問し、「それが出農高の学習の特色です。」との回答に感嘆の声を上げていました。

太鼓部員の指導で和太鼓を体験 食品科学科の和菓実習に参加

来年度に向けた準備がすすんでいます。四月に実施予定の第一回評議員会、五月十三日に開催される総会にて決定されます。

来年度も、よろしくお願ひします。

### ■来年度に向けた準備がすすんでいます！ 第四回PTA評議員会

二月十八日(日)に今年度最後の評議員会が行われました。

農業祭でのウドン・ソバ店の出店報告が行われ、生徒が打った手打ちソバを含め、約五百食を販売し、十二万円あまりの売り上げがあったことが報告されました。そのうち、支出を差し引いた三万四千円の収益が、来年度の農業祭会計へ寄付されます。当日、協力いただきました会員の皆様、ご苦労様でした。

■出農生全国の舞台へ 写真部新聞班へ

昨年行われた県高校新聞コンクールの上位三校に選ばれ、全国高総文祭新聞部門島根大会への出場権を獲得しました。

〜ウエイト部〜

第二十三回全国高等学校 ウェイトリフティング競技選抜大会

場所… 石川県金沢市

期日… 三月二十四日～二十七日

出場選手

環境科学科二年 小川 宏和

食品科学科二年 遠藤 佳孝

標準記録を突破した選手の中から、全国上位十位タイまでの記録の選手のみが出場できる大会です。上位進出が期待されます。

■知っていますか？

〜樹木学習園〜

校内緑化に積極的に取り組んでいる本校では、現在、本校農場西側に多くの種類の樹木を植栽した「樹木学習園」を整備しています。本校生徒はもちろん、地域住民の方々も広く利用できるよう誘導標識等に配慮しています。三月二十九日開園です。是非ご利用ください。

編集後記

今年度、学校だより月報の編集を担当しましたが、編集をしながらこんな活動をしているんだと改めて気づかされたこともあり、本校は話題が多いということを強く感じました。月報を通し、学校の今を皆さんに紹介すると同時に、本校のすばらしさを私自身が感じた一年でした。

(寛)

